

菅原 憲一 (大学院保健福祉学研究科兼務)

1. 著書

- 1) 共著, 菅原憲一・松田雅弘 編集, 2024年12月, 日本語, 標準理学療法学 物理療法第6版, I 物理療法学総論 1. 歴史と今後の課題・展望, V 電気刺激療法 経頭蓋磁気刺激の基礎 その他, 医学書院, 2-10, 157-160

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 責任著者, Tomoya Kokue, Yuma Takenaka, Yuga Matsue, Masayuki Tsuchida, Kenichi Sugawara, 2024年04月, 英語, Changes in acceleration and deceleration factors associated with active gait speed adjustment, 査読あり, The Journal of Physical Therapy Science, 2024 Vol 36, 226-233, <https://doi.org/10.1589/jpts.36.226>
- 2) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Kenichi Sugawara, Yuma Takenaka, Tomotaka Suzuki, 2024年04月, 英語, Effects of sensory afferent input on motor cortex excitability of agonist and antagonist muscles, 査読あり, Behavioural Brain Research, 2024 Vol464, 114-124, <https://doi.org/10.1016/j.bbr.2024.114946>
- 3) 原著論文, 責任著者, Yuma Takenaka, Yuka Tomisakim, Ittetsu Hirose, Kenichi Sugawara, 2024年04月, 英語, Effects of Motor Learning on corticospinal tract excitability during motor imagery, 査読あり, Perceptual and motor skill, 2024 Vol 131, 2023-2044, DOI: 10.1177/00315125241275212

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 渡邊英奈, 佐々木亮樹, 菅原憲一, 鏡による身体所有感の変化が一次運動野の興奮性に及ぼす左右差の影響, 第29回日本基礎理学療法学会, 2024年10月
- 2) ポスター, 責任者, 山田美祐, 竹中悠真, 菅原憲一 他, 動作観察と運動イメージを用いた運動練習が運動の滑らかさに与える影響, 第29回日本基礎理学療法学会, 2024年10月
- 3) ポスター, 責任者, 前田賢太郎, 竹中悠真, 菅原憲一 他, 運動イメージの客観的評価における皮質脊髄路興奮性の有効性, 第29回日本基礎理学療法学会, 2024年10月
- 4) ポスター, 共同研究者, 佐々木亮樹, 菅原憲一 他, メタ解析による知覚学習効果の検証, 第29回日本基礎理学療法学会, 2024年10月
- 5) ポスター, 責任者, 小久江智耶, 菅原憲一 他, 音刺激による歩行速度変化誘導時の運動学的制御, 第29回日本基礎理学療法学会, 2024年10月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本基礎理学療法学会, 評議委員, 2021. 9. 16~

- 2) 三浦市障害者介護給付等の支給に関わる審査委員会, 審査委員, 2020. 4. 1~
- 3) 日本基礎理学療法学術大会, 演題査読委員, 2024. 4. 1
- 4) 日本理学療法学会連合, 理学療法学, Physical thrapy science編集委員, 2024. 4. 1

6. 社会貢献

- 1) 慶育病院 非常勤理学療法士, 202. 4. 1~

8. 学会等での活動

- 1) 第29回日本基礎理学療法学術大会 一般演題座長, 2024. 10. 13

9. 学内教育活動

1) 学部

基礎運動療法学における視聴覚教材作成、運動療法各種手技に関する演習指導の開発, 2024 . 10

電気生理診断特論における視聴覚教材および実習指導教材作成、実験結果発表指導, 2024. 4

2) 博士前期課程

『運動機能制御学特論および特論演習』における実験方法論および講義視覚教材作成, 2024 . 4

指導教員 (M1:2名) , 2024. 4. 1

3) 博士後期課程

『リハビリテーション病態解析学特論および特論演習』における実験指導, 2024. 4. 1

指導教員 (D1:1名, D3 : 2名) , 2024. 4. 1

日本学術振興会特別研究員受け入れ, 2023. 4. 1

10. 学内各種委員会活動

- 1) 保健福祉学部学部長, 2023. 4~
- 2) 総務企画委員長, 2023. 4~
- 3) 全学入試委員会委員, 2023. 4~
- 4) 自己評価審査会委員, 2023. 4~
- 5) COI委員会委員, 2023. 4~
- 6) アドミッションセンターセンター長, 2023. 4~
- 7) 内部質保証推進部会部会長, 2023. 4~
- 8) 教学IRプロジェクトリーダー, 2023. 4~
- 9) 教育研究審議会委員, 2023. 4~

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 代表者, 菅原憲一, 歩行速度調整メカニズムの解明と新たな歩行リハビリテーションプログラムの開発, 4, 680千円, 2023年04月, 2026年03月
- 2) 基盤研究 (C) , 分担者, 鈴木智高, 歩行中の注意負荷量に対応する歩行調節能力, 4, 030千円, 2022年04月, 2026年03月